

100年後の未来を共に創る

next100

2022活動報告書



next100実行委員会

多様なパートナーとの共創で持続可能な社会を創るプロジェクト

next100

SDGsの実現には共創、パートナーシップが欠かせないといわれています。

しかし、どんなことを誰と一緒にできるのでしょうか。

社会課題に対する小さな1歩から世代や属性を超えた仲間と活動することで、お互いの存在や価値観を認め合いコミュニティを広げることができ、ダイバーシティとエクイティ、インクルージョンを実現させながらSDGsの達成に近づけるできるとの想いを描き、共創プロジェクトを提案しています。

「できるかな」から「一緒ならできる」へ



■ 主宰挨拶

next100実行委員会

2022年、100年後の良い未来を積極的に創る仲間を増やしたい、世代や属性を超えて共に持続可能な社会を創りたいという想いを持つ有志の企業でnext100実行委員会を立ち上げました。2022年5月に創設100周年を迎えた青少年赤十字の「気づき・考え・行動する」ことを通じて人道のこころを育む取組みに共感し、100周年応援企画として「JRC with next100」を実施してまいりました。

持続可能な社会を創るため、世界中が目標としているSDGs（持続可能な開発目標）に世代や属性を超えて一緒に取組むことを続けることが大切だと考えています。今後も、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI：多様性、公平性、包括性）およびゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」を実現させながら気候変動や環境保全、ウェルビーイング、防災、誰ひとり取り残さない社会の実現など他16の目標の達成を目指します。

委員長 株式会社伊藤園 高見 啓

■ 参加団体の声

日本赤十字社神奈川県支部
青少年・ボランティア課
青少年係長 山田 祐一 様



next100の企画（ビーチクリーンやオンライン講座）への参加を通じて、青少年赤十字メンバーおよび赤十字ボランティアが、SDGsの達成を目指す企業の皆さんと交流し、ともに学び合う、という普段の活動では得られない経験をさせていただくことができました。

next100実行委員会の皆さまには、「気づき・考え・実行する」という青少年赤十字の態度目標を、プロジェクト企画段階から大切に汲み取っていただき、企業の皆さんとの橋渡しをしていただけたことで、新たなチームワークが生まれ、今後の活動へのモチベーションを高める機会となりました。

一般社団法人ルーデンスジャパン
代表理事 山田 恭平 様



当法人が企業と進めている子どもの可能性を引き出す運動遊びプロジェクトJUMP-JAM（ジャンジャン）をご紹介でき、感謝しています。next100のような取り組みがあることで、「であい・ふれあい・つながりあい」の場が広がっていると実感しました。これからも私たちは、next100の仲間と協力しながら、持続可能な社会を共に創っていきたいです。引き続き変化を生み出すアクションを一緒に作っていきましょう。

2022年の活動実績



2022年5月、青少年赤十字が創設100周年を迎えました。青少年に対し、公立・私立などの区別なく全国の希望する学校を通じて「気づき・考え・行動する」ことを通じて人道のこころを育むというコンセプトのもと、青少年育成を行うその活動に共感し、今年度は青少年赤十字100周年応援企画として日本赤十字社神奈川県支部の協力のもと、神奈川県内の青少年赤十字加盟校とともに「JRC with next100」を実施してまいりました。

5月29日
(日)
オンライン
イベント

6月19日
(日)
ビーチ
クリーン

7月24日
(日)
オンライン
イベント

9月25日
(日)
ビーチ
クリーン

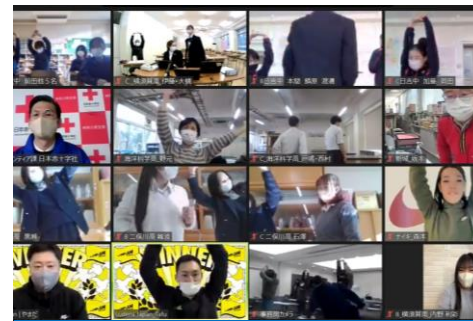
12月18日
(日)
オンライン
イベント



ビーチクリーン



ワークショップ



オンライン

リアルイベントについては神奈川県という立地からSDGsでも重視される海の豊かさを守るため、ビーチクリーンを2回実施しました。高校生、特別支援学校生、教師、大学生、企業の人、スポーツ選手、ボランティア、ビーチクリーンの専門家、など多様な人たちがチームになり、小さなごみを見つける作業の中で、多世代交流と多様な価値観の交流が生まれ、単に清掃する以上の調和が生まれました。振り返りのワークショップを行うことで、より理解が深まり、今後何ができるかという「気づき」から「考え」るまでのプロセスが加速し、参加した子どもからも大人からも好評でした。オンラインイベントでは、多様な取り組みをしている企業や団体の話を聞き、そこから子どもたちが自分たちの勉強や生活とSDGsを技術や発想でつなぎ、取り組むという「気づき」の機会となりました。

2022.

06.19

next100 ビーチクリーン in 三浦海岸

Let's スカベンジ！ みんなで SDGs！

【参加者 計 86 名】

日本赤十字社神奈川県支部青少年赤十字加盟校 8 校

赤十字奉仕団（ボランティア）

株式会社伊藤園

横浜エクセレンス（バスケットボールチーム）

株式会社 Smartgive

高校生	47 名
指導者（教師）	6 名
日本赤十字社神奈川県支部職員	4 名
横須賀市地域支援赤十字奉仕団	7 名
株式会社伊藤園	4 名
横浜エクセレンス	5 名
株式会社 Smartgive	4 名
家族	9 名



参加者の声

●高校生

「1人で居た時に周りの大人の皆さんが話しかけてくださってとても嬉しかったです。」
「今回ゴミ拾いをしてあまりゴミ無いと思っていたのですが、いざ拾ってみると結構あったので、当たり前なのですがゴミはちゃんと分別してゴミ箱に捨てることです。」
「最初は、あまり気乗りがしなかったけれど、清掃しているうちに楽しくなってきました。」
「JRCのイベントなどには初めて参加しましたが楽しくゴミ拾いすることが出来ました。今後もこのようなイベントがあったら是非とも参加したいと思いました」
「今までコロナでなかなか集まてできませんでしたが、部で他の高校と交流できてよかったです。」
「沢山の人と交流ができてとても楽しかったです。」
「交流しながら楽しく拾うことが出来たのであっという間に時間が過ぎました。これからもボランティアに積極的に参加してゆきたい。」
「学校の中の活動でビーチクリーンをする予定なので参考になりました！また、班の人達とも会話を取りながら行えたと思います。」
「楽しかったです。」

●指導者

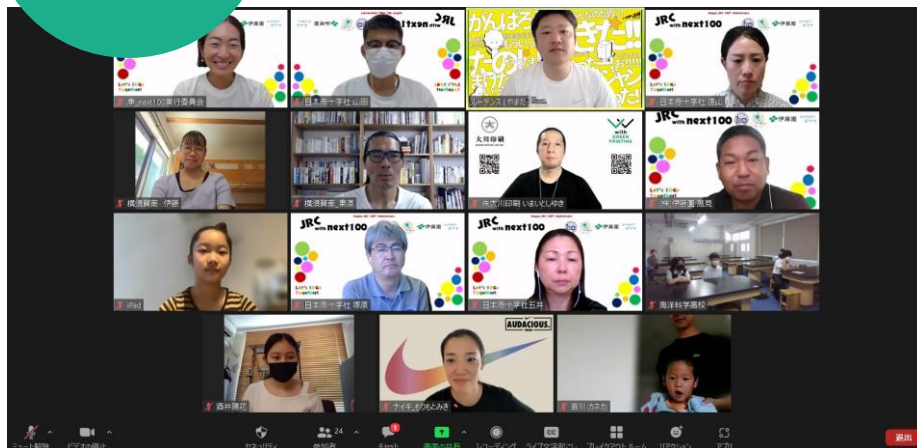
「生徒たちが意欲的に参加出来て良かったです。ありがとうございました！」
「蒸し暑かったこともあり、生徒たちがバテないか、飽きないかと気がかりでしたが、各班のリーダーの方が時折声をかけていただいたこともあり最後までしっかりと取り組めていたのは良かったと思います。たくさんの方、生徒が関わり調整など大変だったと思います。有難うございました。今後もよろしくお願いいたします。」

2022.

07.24

next100 企業の人のはなしを聞いてみよう！

企業も良い未来を創ろうとしてるってほんと？

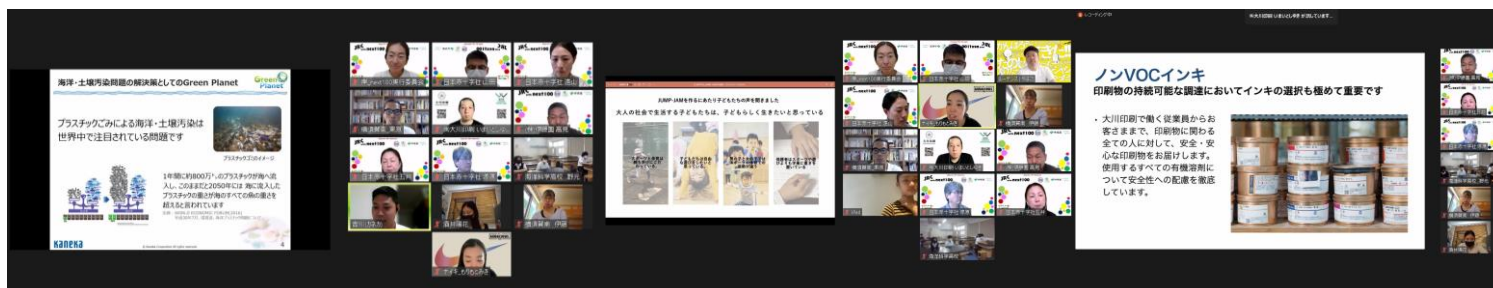


【参加者 計 14組】

日本赤十字社神奈川県支部青少年赤十字加盟校
株式会社伊藤園
株式会社 Smartgive

【講演者】

株式会社カネカ
ナイキ・ジャパン合同会社
一般社団法人ルーデンスジャパン
大川印刷株式会社



参加者の声

「グリーンプラネット※は本校の実験で使ってみたくと思った。」
「グリーンプラネットという環境に良い素材についての話が印象に残りました。」
「じゃんけんゲームが楽しかったなと印象に残った」
「プラスチックが分解されるまでにどのくらいの年数が必要かという数値の話」
「昔はCSRが企業の自己満足だったが、今はSDGsによって堂々とアピールできるようになったというお話が印象的でした。」
「よくニュースなどで耳にしますが、生分解性プラスチックについてご説明いただき、大変勉強になりました。また、企業として大川印刷さんの取り組みはすばらしかったです。」
「プラスチックは長く残ることをはじめて知った」
「バナナの木から紙をつくるということが面白く、しかも環境にもやさしいということを学びました。」
「印刷の歴史と横浜の姿を映像を通して見る事ができました、説明も楽しかった。地元企業で、お願いしたくなりました。」
「ポリマーの原料をつくる微生物を見つける話が面白かったです。また、運動を苦手にとらえてしまう話は、ほんとうに自分にあてはまり、うまくできないから一緒に動きたくないと逃げてしまっていました。幼い頃にぜひ参加したかったと思いました。」

※グリーンプラネット＝株式会社カネカが開発した生分解性ポリマーの名称

2022.

09.25

next100 ビーチクリーン in 油壺

Let's スカベンジ！ みんなで SDGs！

【参加者 計 53 名】

日本赤十字社神奈川県支部青少年赤十字加盟校 4校
横須賀市地域支援赤十字奉仕団（地域ボランティア）
神奈川県青年赤十字奉仕団（大学生ボランティア）
株式会社伊藤園
株式会社三崎観光（京急グループ）
横浜エクセレンス（バスケットボールチーム）
株式会社 Smartgive

【協力】

三浦市



参加者の声

●高校生

「普段はこのような体験・交流の機会が少ないので嬉しかった。機会があればまた参加したい」「これからは、家や学校の掃除を細かいところまで気にかけてやってみたい」「今まではゴミを拾って終わりだったが、「そのゴミはどこから来たのか？自分で何ができるのか」について考えることができ、参加してよかった」「イベントがあるときだけでなく、日頃からゴミについて考えていきたい」「自分たちにもできることがある」ということを友達などに伝えたい」「普段は気に留めていないことにフォーカスを当てながら海をきれいにする楽しさを知れた」「ほんの少しだけど、いま世界で問題になっていることに貢献できたことが良かった」「授業で習ったSDGsの実現に少しでも協力ができて良かった」「ただ楽しみながらゴミを拾うだけでなく、学びながら楽しむことができた」「各家庭（学校も）から飛ばされたものの多くが海ゴミの原因になっていることを知り、台風の前にベランダをきれいにしたり、家の周りのゴミ拾いをしたいと思った（ペンとか人芝がなぜビーチに！？と驚く発見が多かったが、理由を知り、海に行かなくてもビーチクリーンができると感じた）」

●協力企業・団体

「今日のイベントを通じて、参加者同士で新たなチームができたので、これからも一緒に活動していきたい」「生徒たちと一緒に学びながら体験・交流することで、自分たちも新たな発見がたくさんあった」

メディア露出

■番組名

テレビ神奈川「カナガワニ海」

■放映日

2022年7月29日(金)22:55～23:00

■番組概要

神奈川の海の魅力を再発見するミニ番組

■内容

next100ビーチクリーンイベントの様子を紹介
100年後の海におもいを馳せる。

■備考（公式）

<https://youtu.be/HcwL-FPq36E>

■番組名

テレビ神奈川「NEWSハーバー」

■放映日

2022年7月1日(金)18:00～18:30

■番組概要

毎週金曜夕方のニュース番組。前半の特集で放送

■内容

next100ビーチクリーンイベントの様子を紹介
100年後の海におもいを馳せる。

■備考（非公式、記録参考用）

<https://youtu.be/zQ1W3v8L9Mw>

■メディア名

タウンニュース

■備考（公式）

<https://www.townnews.co.jp/0502/2022/10/07/645421.html>

■メディア名

読売新聞

■日本赤十字社神奈川県支部

ホームページ：https://www.jrc.or.jp/chapter/kanagawa/news/2022/1013_028856.html

next100実行委員会

委員長：株式会社伊藤園 高見 啓
事務局：株式会社Smartgive 岸 洋子